

第2章 医療施設調査・病院報告

1 施設数

令和元年10月1日現在の病院数は49施設（精神科病院9施設、一般病院40施設）で、前年と同数であった。一般診療所は715施設で、前年に比べ8施設減少した。病床の有無でみた一般診療所数は、前年と比べて有床が2施設減少、無床が6施設減少した。歯科診療所は268施設で、前年に比べ1施設減少した（表3-1）。

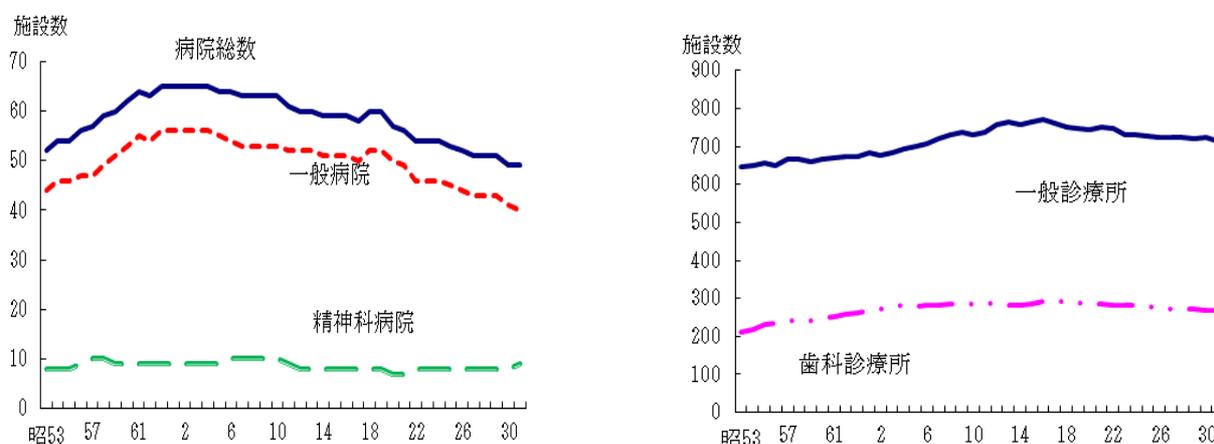
表3-1 医療施設の種別別にみた施設数

	施設数			構成割合 (%)	
	令和元年	平成30年	増減数	令和元年	平成30年
総数	1,032	1,041	△ 9	100.0	100.0
病院	49	49	-	4.7 (100.0)	4.7 (100.0)
精神科病院	9	8	1	(18.4)	(16.3)
結核療養所	-	-	-	(-)	(-)
一般病院	40	41	△ 1	(81.6)	(83.7)
一般診療所	715	723	△ 8	69.3 (100.0)	69.5 (100.0)
有床	40	42	△ 2	(5.6)	(5.8)
無床	675	681	△ 6	(94.4)	(94.2)
歯科診療所	268	269	△ 1	26.0	25.8

注：（ ）内の数値は病院、一般診療所の総数を100とした場合の構成割合である。

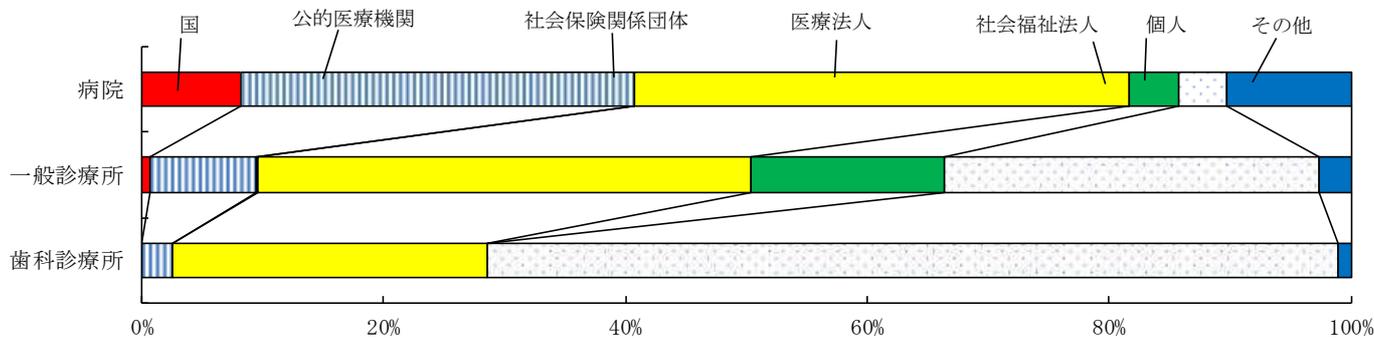
病院数の年次推移をみると、一般病院は昭和61年までは年々増加していたが、昭和63年から平成4年の65施設をピークに緩やかな減少傾向にある。精神科病院数は7～10施設で横ばいに推移している。一般診療所は平成16年までは緩やかな増加傾向にあったが、平成17年から減少傾向にある。歯科診療所は、緩やかな増加傾向にあったが平成18年をピークに減少に転じている（図3-1）。

図3-1 医療施設数の年次推移



医療施設の開設者割合をみると、病院は最も多いのが医療法人の40.8%で、ついで県、市町村等の公的医療機関の32.7%である。一般診療所は平成10年には個人が5割、医療法人が3割弱を占めていたが、年々個人の占める割合が減少し、医療法人の占める割合が増加したため、平成20年には医療法人が個人より多くなった。一般診療所における令和元年の状況は、医療法人が40.7%、個人が30.6%である。歯科診療所は大部分が個人で、69.4%を占めており、ついで医療法人が26.9%となっている（図3-2）。

図3-2 医療施設の開設者割合 (%)



人口10万対施設数を前年と比べると、病院が0.1増加し、一般診療所が0.2減少した。全国と比べると、病院は0.7、一般診療所は24.8高く、歯科診療所は14.5低くなっている（表3-2）。

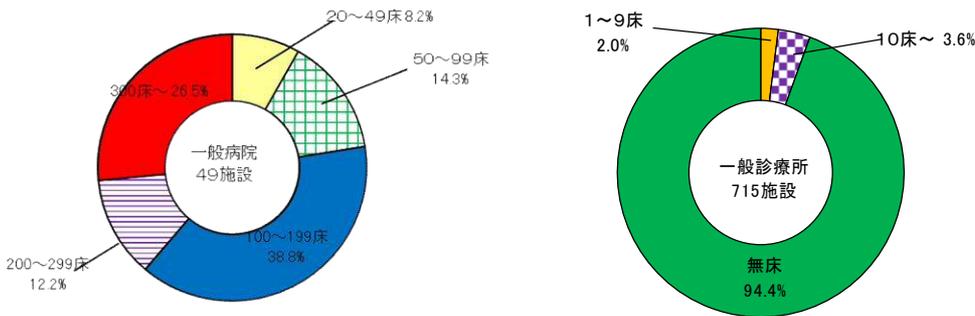
表3-2 人口10万対医療施設数

	島根県		全国
	令和元年	平成30年	令和元年
病院	7.3	7.2	6.6
一般診療所	106.1	106.3	81.3
歯科診療所	39.8	39.6	54.3

一般病院を病床規模別にみると、20~49床が8.2%、50~99床が14.3%、100~199床が38.8%、200~299床が12.2%、300床以上が26.5%であった。

一般診療所は1~9床2.0%、10床以上が3.6%、残りの94.4%は無床である（図3-3）。

図3-3 一般病院、一般診療所の病床規模別割合



2 病床数

令和元年10月1日現在の病院の病床数は前年に比べ176床減少した。病床の種類別にみると、療養病床が104床、一般病床が72床それぞれ減少した。

また、一般診療所の病床数は前年から28床減少した（表3-3）。

表3-3 医療施設の種別別にみた病床数

	病 床 数			構成割合 (%)	
	令和元年	平成30年	増減数	令和元年	平成30年
総 数	10,746	10,950	△ 204	100	100
病 院	10,274	10,450	△ 176	95.6 (100.0)	95.4 (100.0)
精神病床	2,277	2,277	-	(22.2)	(21.8)
感染症病床	30	30	-	(0.3)	(0.3)
結核病床	16	16	-	(0.2)	(0.2)
療養病床	1,946	2,050	△ 104	(18.9)	(19.6)
一般病床	6,005	6,077	△ 72	(58.4)	(58.2)
一般診療所	472	500	△ 28	4.4	4.6
歯科診療所	-	-	-	-	-

注：（）内の数値は病院の病床数総数を100とした場合の構成割合である。

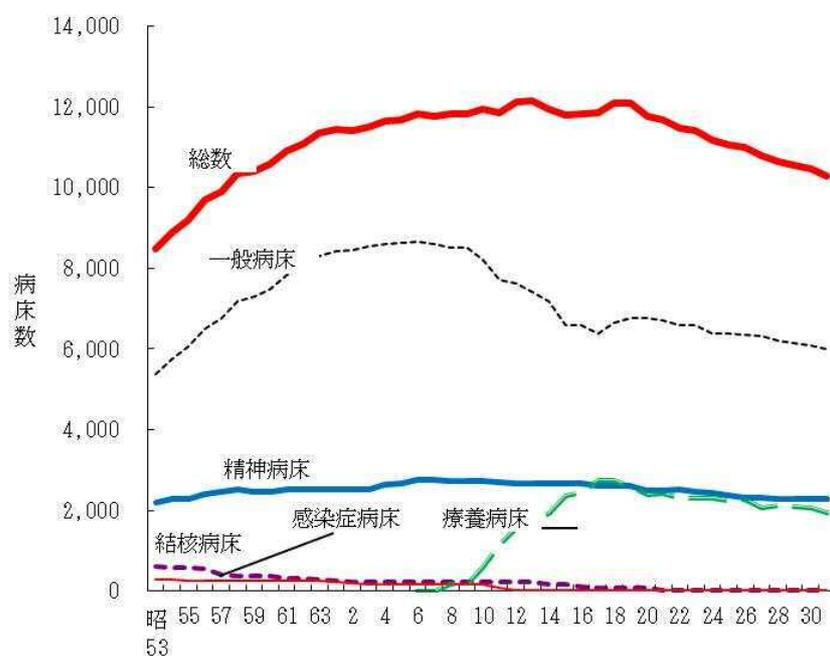
人口10万対病床数を前年と比べると、病院では、精神病床が2.9、療養病床が5.4、一般病床が2.8減少した。

また、一般診療所は前年より3.5減少した。病院における人口10万対病床数は、全国よりかなり高くなっている（表3-4）。

表3-4 人口10万対病床数

	島根県		全国
	令和元年	平成30年	令和元年
病 院	1,524.3	1,536.8	1,212.1
精神病床	337.8	334.9	258.9
感染症病床	4.5	4.4	1.5
結核病床	2.4	2.4	3.5
療養病床	288.7	301.5	244.5
一般病床	890.9	893.7	703.7
一般診療所	70.0	73.5	72.0

病院の病床数の推移をみると、総数は緩やかな上昇傾向にあったが、平成18年をピークに減少に転じた。一般病床は平成10年以降、療養病床の増加に伴い減少傾向にある。一方、療養病床は平成8年以降、年々増加していたが、平成18年の2,740床をピークに減少している（図3-4）



注1: 「一般病床」は、昭和62年～平成4年は「その他の病床」、平成6年～平成12年は「その他の病床（療養型病床群）をのぞく」、平成13・14年は「一般病床」及び経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床をのぞく）」である。

注2: 「療養型病床」は、平成12年までは「療養病床群であり、平成13・14年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」である。

3 診療科目

県内 49 施設の病院のうち、内科を持つ病院が最も多く 44 施設で、ついで整形外科が 34 施設、外科が 30 施設となっている。平成 30 年と比べると精神科が増加し、内科等 4 診療科目が減少した。

一般診療所 715 施設のうち、最も多い診療科目は内科の 551 施設であり、ついで小児科が 150 施設、消化器内科（胃腸内科）が 130 施設、循環器内科が 96 施設となっている。平成 30 年と比べると、皮膚科等 4 診療科目が増加し、内科等 8 診療科目が減少した（表 3-5）。

表 3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

表3-5 診療科目別にみた病院数、一般診療所数（重複計上）

	病 院			一 般 診 療 所		
	令和元年	平成30年	増減数	令和元年	平成30年	増減数
内科	44	45	△ 1	551	558	△ 7
呼吸器内科	15	16	△ 1	44	45	△ 1
循環器内科	24	24	-	96	98	△ 2
消化器内科 (胃腸内科)	21	21	-	130	132	△ 2
腎臓内科	8	8	-	4	4	-
神経内科	32	31	-	34	34	-
糖尿病内科 (代謝内科)	7	7	-	15	16	△ 1
血液内科	4	4	-	4	4	-
皮膚科	25	25	-	51	50	1
アレルギー科	2	2	-	36	36	-
リウマチ科	3	3	-	23	23	-
感染症内科	-	-	・	2	2	-
小児科	26	26	-	150	154	△ 4
精神科	26	24	2	55	54	1
心療内科	6	6	-	36	35	1
外科	30	30	-	63	64	△ 1
呼吸器外科	9	9	-	-	-	・
循環器外科 (心臓・血管外科)	7	7	-	1	1	-
乳腺外科	5	5	-	3	3	-
気管食道外科	-	-	・	-	-	・
消化器外科 (胃腸外科)	3	3	-	4	4	-
泌尿器科	20	21	△ 1	20	20	-
肛門外科	4	4	-	14	14	-
脳神経外科	15	15	-	11	11	-
整形外科	34	34	-	63	63	-
形成外科	7	7	-	8	8	-
美容外科	-	-	・	2	2	-
眼科	21	21	-	53	53	-
耳鼻いんこう科	22	22	-	27	29	△ 2
小児外科	3	3	-	1	1	-
産婦人科	16	16	-	16	16	-
産科	1	1	-	1	1	-
婦人科	5	6	△ 1	12	12	-
リハビリテーション科	29	29	-	60	60	-
放射線科	21	21	-	24	24	-
麻酔科	21	21	-	15	14	1
病理診断科	7	7	-	-	-	・
臨床検査科	1	1	-	-	-	・
救急科	3	3	-	-	-	・
歯科	6	6	-	6	6	-
矯正歯科	-	-	・	-	-	・
小児歯科	-	-	・	-	-	・
歯科口腔外科	12	12	-	-	-	・

4 利用状況

令和元年の1日平均在院患者数は8,310人であり、前年から61人減少した。うち、精神科病院は118人増加し、一般病院は179人減少した。1日平均新入院患者と1日平均退院患者数はともに296人で、前年より3人増加した。1日平均外来患者数は7,243人で、前年から14人増加した(表3-6)。

表3-6 病院・病床の種類別にみた1日平均在院・新入院・退院・外来患者数

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数		
	令和元年	平成30年	増減数	令和元年	平成30年	増減数
病院総数	8,310	8,371	△61	296	293	3
精神科病院	1,618	1,500	118	5	5	-
一般病院	6,692	6,871	△179	291	288	3
病床総数	8,310	8,371	△61	296	293	3
精神病床	1,941	1,945	△4	8	8	-
感染症病床	-	-	-	-	-	-
結核病床	3	5	△2	-	-	-
療養病床	1,686	1,724	△38	8	9	△1
一般病床	4,680	4,698	△18	280	276	4

	1日平均退院患者数			1日平均外来患者数		
	令和元年	平成30年	増減数	令和元年	平成30年	増減数
病院総数	296	293	3	7,243	7,229	14
精神科病院	5	5	-	427	389	38
一般病院	291	288	3	6,816	6,840	△24
病床総数	296	293	3	・	・	・
精神病床	8	8	-	・	・	・
感染症病床	-	-	-	・	・	・
結核病床	-	-	-	・	・	・
療養病床	12	12	-	・	・	・
一般病床	277	273	4	・	・	・

注：端数処理のため、総数と内訳の集計数値が一致しない場合がある。

令和元年の病院の病床利用率は、総数が80.6%、精神病床が85.4%、療養病床が85.7%、一般病床が77.7%、結核病床が18.4%であった。(図3-5)

図3-5 病床の種類別にみた病院病床利用率の年次推移

